



日野産業高校と根雨高校が統合してから20年。日野郡唯一の高等学校で、地域とのつながりを大切にしている日野高校のニュースを隔月でお届けしたいと思います。

【入学式】2021/4/7

新緑に心惹かれるなか、令和3年度入学式が行われました。令和3年度の入学生は前年比1.6倍となり、少しずつ日野高校の魅力が伝わってきたのではと思います。

坪倉校長の式辞では、44名がそれぞれ異なることを知り、違いを認め合って、3年間充実した輝かしい学校生活を送ってほしいと、新入生に思いを伝えられました。

44名（県外生10名・県内生34名、うち郡内生11名）の日野高校での新たな挑戦が始まります！



【課題研究スタート】2021/4/9

3年生の総合的な探究の時間「課題研究」がスタートしました。初日はオリエンテーションを行い、課題研究の目標や進め方を確認し、それぞれ課題研究を通じて、どのような力を伸ばしていきたいかを考えました。研究テーマは、地域の魅力発信、イベント企画、特産品の開拓・開発、eスポーツで高齢者も元気に、特産品のレシピ開発など、今年度も地域を元気にすることを目指して探究活動を進めていきます。日野郡内の地域アドバイザー・サポーターの皆様にも、お世話になります！1年間でどのような成長が見られるのか、とても楽しみです。



林業アカデミー奮闘記

林業アカデミー3期生の実習が始まる

4月5日（月）に林業アカデミーの入学式が行われ、3期生13人が入学しました。高校新卒者が8人という今まで以上に若い学生が多いメンバーになっています。そこで、新たな試みとして高校新卒者には、社会人を身に着けるため年に20冊は本を読むようにし、毎月読書感想文の提出を課しています。個人的には、読み書きの徹底こそが「判断の基準」の精度を上げる唯一の方法であり、人間性や社会性を高める基盤になると思います。

林業の研修面では、昨年度末に練習用重機を一台購入し今までより早く重機の操作練習を始めることにより練習量を増やし、より効果的に林業機械技術習得ができるように改善を図っています。人数が増えたことで、スタッフの充実も図り、新たに森林管理を専門とする教員を採用し、実習時の外部講師も増員することで実習の量と質の確保を図ります。地域貢献活動については、森林教育への参加だけでなく、宣揚祭の船通山山頂への物資運搬や大山山頂

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 8410070



における治山活動などにも積極的に取り組めます。
3年目を迎え林業アカデミーの活動も当初予定していた①林業人材の育成、②実践的な林業・山村研究、③子供向けの森林教育、④現役向けの林業講座を、本年度は一通り実施できる見通しが立ちました。にちなん中国山地林業アカデミーを核に、現場の人間が中心となり、日本林業を根底から改善する年にしたいと思います。若い学生が多いので、本年も町民の皆様のご協力よろしくお願ひします。

